



グローバル

NO. 117

こうのす国際交流市民の会

発行責任者

鈴木和子 Tel090-6035-3649

お問い合わせ

Email hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp

発行日

2021年 3月15日(月)

皆様、お元気ですか？ コロナ感染拡大問題は未だ目途が立たず、いつになったら、以前の状態に近い生活に戻れるのか、皆様同じ思いをお待ちではないでしょうか？ まして海外から鴻巣に来て生活されている皆さんの不安は大きいと思われまます。出来る限りの手助けはしてあげたいですね。そんな中、季節は変わらず巡り来て、春はそこまで来ています。例年通りにはいかないでしょうが、違った形ででも春の到来を歓迎しましょう。



今号では小中学校での取り出し授業を特集してみました。日本語指導をして頂ける方を更に必要としております。 やって頂ける方、或いは日本語指導に興味ある方、是非鈴木和子さんへご連絡下さい。未経験でも結構です。

またスペイン語クラブの渡辺さんからは、国際婦人デーに関して素敵な寄稿を頂きました。ありがとうございました。

お知らせ

1. 20周年記念誌発行について

「こうのす国際交流市民の会」は今年、活動開始から20周年を迎えました。

本来であれば、今春「クリアこうのす」で記念行事を行う予定でしたが、コロナ渦の下、人が集まる行事は中止せざるをえず、記念誌の発行のみとなりました。まもなく皆様のお手元に届けたいと思います。

寄稿して頂いた方々大変ありがとうございました。



2. 3月4月は会員更新時期です。



いつもの手順で会費の納付(郵便局から又は役員に手渡す)をお願いします。

電話番号や email address 等情報が変更になった場合もお知らせ下さい。メールでも OK です。

(鈴木和子 <suzuki-kazuko15@jcom.zaq.ne.jp>)

3. 5月末に「お国紹介」をイベントとして計画しています。

今回はベトナムを紹介の予定です。

美しい海岸！ 美味しい料理！

なにより若い力がみなぎっているベトナム！

最近ベトナムから日本に来日している人は多いです。

私たちもベトナムのことを一緒に学びましょう。



取り出し授業について ご紹介

現在、鴻巣市及びその近隣の小中学校学校からの依頼に基づきそれらの学校に通っている在留海外子弟に対して、学校に出向いて正規の授業時間帯の一部を使い、日本語習得の為の特別授業を行っております。6 中学校と 4 小学校に出向いています。

生徒達の出身国は中国、フィリピン、ネパール、パキスタン、スリランカ、ブラジル、ペルー、ネパール、コロンビア等。

家庭の様々な事情で日本に来て(来させられて?)、縁があつて鴻巣へ住むことになった子供達。共通しているのは、皆さん明るいこと！でも日本語は難しいです。



たどたどしい日本語で、授業を受け、分からないまま、教科書はどんどん進みます。それでも皆さんついていこうと必死です。漢字、カタカナ、ひらがな、何でえこんなに種類があるのお！！指導している皆さんは優しく教えています。指導されている皆さんの声とその様子を紹介します。

“楽しく、少しでも日本語に馴染んでもらえるようにと心がけています。漢字の書き順をどこまで徹底させるべきか？悩ましいところです。”（越田さん）

フィリピンからの中学1年生の2人。



明るい可愛い男の子。
そしてシャイなのか、筆談で対応してくれる、英語の得意な女の子。
2人共、加減乗除の計算がスムーズに進んでいません。
九九の暗算や易しい漢字の繰り返し授業をしています。
（井上さん）



右は中国からの中学1年生、女の子。
とても明るくて話しも大好きで、
いろいろな話を聞かせてくれます。
漢字の読み方は難しいようですが、
意味は理解しています。
さすが中国ですね。（井上さん）



(K 中学校)

本人の希望で「数学」をやることになり、数学に出てくる漢字を覚えて貰おうとしましたが、漢字の意味を教えるのにはやはり、問題を解かないと説明できません。



学校に行く前日は「YouTube」で私も勉強しました。そこではとても分かりやすく、丁寧に教えています。後で分かったことですが、その先生はとても若い人に人気がある「葉一」という若者でした。

難しい問題にも食いついてきて、とても集中力がある生徒だったので、私も押され気味でした。

中3の数学は難しい。もうすぐ高校入試結果発表です。嬉しい便りを待っています。（鈴木さん）

（鈴木さん）

(A 中学校)

ここでは宿題のお手伝いや数学、漢字など多岐にわたってサポートしましたが「理科」の時間を割いて「取り出し授業」をすることに、実験などが抜けることを理科の先生は心配してしまし

た。それで、私も一緒にクラスに入ってサポートすることになりました。私も中学生になったようで楽しかったです。週2回ありましたから、1時間はクラスで、1時間はその理科復習をしました。私のサポートが少しでも役に立ったら嬉しいです。 (鈴木さん)

今回は紹介出来ませんでした。上記の方々以外にも、向井さん、中村さん、関口さん、川北さんの各氏が熱心に指導されています。

皆様からの寄稿

「国際婦人デー」

スペイン語クラブ 渡辺 邦典

数年前スペインツアーに参加した。マドリッドでプラド美術館を見学して昼食のレストランに向かう大きな通りを歩いていたら大勢の女性たちが一方向にぞろぞろと歩いているのが目にとまった。ガイドに聞くと今日3月6日は「国際婦人デー」で、そのデモや集会に向かう女性たちだという。丁度ガイドが指さして教えてくれた建物、マドリッドの下院議事堂国会議事堂には「Día internacional de la Mujer」(国際婦人デー)の大きな垂れ幕が見られ



た。

午後は、古都トレドを見学して夕方にはツアーバスで再びマドリッドに戻ったが、薄暗くなって市内に入る頃にはそこら中が渋滞でバスがなかなか進めずレストランの夕食に間にあわなくなってしまった。この日はツアー最後の夕食とあってシーフードパエリアを作ると

ころから見せてもらってみんなで分けて食べることになっていたが、到着が遅れたため既にシェフがパエリアを作り上げて各自の皿に分けて出された為、少々皆期待外れのパエリアになった。そこで忙しそうに働いていたウエイトレスに「今日は国際婦人デーで大勢の女性が集まっているようだが行かなくていいの？」と尋ねたら「こんなに忙しいのに行ける訳ないじゃん。」とそっけない感じで返ってきた。



翌朝マドリード空港の売店で売り子さんにおすすめの新聞を尋ねたら、EL PAÍS 紙(52 ページ 1,50 euros)を教えてくれた。そこには前日の国際婦人デーの様子が大々的に報じられていて、写真では広場を埋め尽くす女性たちの大群衆に圧倒された。マドリードだけではなくスペイン全土 120 の都市でデモが行われ、イタリアやフランス、南米アルゼンチン、イスラム国でも大勢の女性によるデモや集会が行われたことが同紙の多くの紙面を占めていた。

そもそもこの運動は、1904 年ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり国連によって 1975 年に「3 月 8 日を国際婦人デー」として制定され、この日は世界各地で記念行事が行われ女性の地位向上、男女格差や性差別反対等を訴え、女性のデモや集会が開催されるようになった。ある新聞には、この日は女性は働かない、お金を使わない、家事もしない等と言われ「女性が止まれば世界がとまる」のスローガンが叫ばれたと言う。また昨年コロナ禍が始まったばかりのこの日には、スペインの新聞の見出しに「男性優位主義はコロナウイルスより多くの人間を殺す」と書かれたと聞いた。



日本では一部の女性団体やグループによる記念事業やイベントが行われるが、スペインのような大々的な動きは現在では見られない。しかし世界経済フォーラムが 2019 年に発表した男女平等指数が世界 153 ケ国中日本は 121 位とあっては…。ジェンダー平等の推進が叫ばれる昨今「女性の生き方を考える日」としてこのような運動が日本でも今後は盛んになっていくのではないかと考えられる。(写真撮影:筆者)

「宇宙から帰ってきた日本人」

スペイン語クラブ 水田久敏

コロナ渦でこもって過ごす日々では、読書も楽しみの一つ。

私は、とにかく乱読。新聞の書評などで、面白そうだなあと考えたものから読んでおります。年金生活の身ですので、購入するという訳には行かず、専ら図書館を利用しております。

最近読んだ本の中で、「宇宙から帰ってきた日本人」という本は印象深かったです。僭越ながらご紹介させていただきます。

この本は秋山さん(1990年)、毛利さん(1992年)から始まる日本人宇宙飛行士12人に宇宙飛行・滞在体験をインタビューを纏めた本なのですが、想像していたのと異なる意外な感想など知ることが出来ました。

1900年代までは、ロケットで打ち上げられて、地球を何周かして帰還する形でしたが、1998年から国際宇宙ステーション(ISS)が建設・運用され始め、日本人宇宙飛行士が増加しています。現在の宇宙飛行はこのISSへの飛行滞在期間という形で、人はロシアからの宇宙船で、物資輸送はロシア、アメリカの宇宙船でという形が多い様です。打ち上げられた宇宙船がISSとドッキングして、飛行士は一定期間をそこで過ごす中で、実験等のミッションをこなして後、帰還する形になっています。



ISSは地球の上空約400km(=東京-大阪間の距離 ;地上100km以上を宇宙と定義するそうです。)にあり、サッカー場くらいの広さx高さ74mの大きさで、地球を90分で一周する物凄いスピードで回っている(=1日に地球を16周する計算)そうです。従い、宇宙飛行士は夜明けと日没を一日に何回も見るが、飽きない眺めだそうです。まさにこの世ではない!

前述の様に、有人宇宙船はロシアのカザフスタンから打ち上げられるケースが多く、ISS内にはアメリカ人、ロシア人、日本人、EUの国の人達の合計6人が常時滞在しており、そこではISS内でリサイクルされた水と空気ですべて生きてます。まさに国際的な事業そのものです。ミニミニ地球という感じですが、全く異なるのは“国際紛争無し!!”。

宇宙飛行士の印象的な言葉を羅列します(本が手元になく記憶です);

- 宇宙から見た地球は薄い膜で覆われていて、その膜が地球上の生物を優しく包んでいる。、地球はまさに一個の生命体という感じ。

- ISSを大きくしたのが地球だと感ずる時がある。地球で作られた(リサイクルされた)空気と水のおいしさに感激する。

- 重力圏(地上)→無重力圏(ISS内)→重力圏(地上)と変化に対して問題なのは三半規管の問題で、筋力ではない。

- 身体も心理面までも短期間にその変化に慣れてしまう自分にビックリするとか。→人間の体の神秘性。

読後に思った!

— 地球は生きた奇跡の星、生命体であり、地球にとって人間は微生物或いは細胞みたいな存在かも知れない、



そんな中で人間は何を争っているのだろうか？

多少、私の私的解釈・主観が入ってしまっているかも知れませんが、地球を大切にしないと、人類は破滅するぞ！ そんな感想を持ちました。

ISSには、現在、野口聡一さんが滞在。4月には星出彰彦さんが飛び立つらしいです。同時に日本人二人が宇宙に滞在するのは勿論初めてらしいですね。

★コラム(編集後記)

くくこのコーナーは皆様が自由に意見や感想を述べたりして、交流して頂く欄にしたいと考えております。感動したこととか、何か伝えたいこととか、相談したいことがある方は、皆様からの寄稿とは別な形でご参加頂ければと考えております。2~3行でも結構です。メール等でご連絡いただき記載したいと思います。どんなことでもOKです。どうぞご意見を hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp へお寄せ下さい>>

2月からスタートしたNHKの大河ドラマ『晴天を衝け』のモデルになっている渋沢栄一について、少し勉強してみた。

ご存知の通り、第一国立銀行(国立と名前がついてますが民間資本で民間経営だったそうです)をはじめ、500社の企業設立や福祉・教育関係の約600の社会公共事業に関わると共に、国際交流・民間外交にも尽くした、本当に彼の活躍は多種・多岐に亘っていますね。

彼の活躍のキッカケになったとも言えるのが、パリの万国博覧会訪問ではなかったでしょうか。徳川幕府の派遣団の一員として参画し、そこで西洋の進んだ技術・社会システムに目を見開かされたのが、彼のその後の活動の源であったとも言われます。

あれ?! そう言えば、Barcelona/Spainのサグラダ・ファミリアを設計したガウディが、彼のパトロン且つ親友のエウセビオ・グエルと出会ったのもパリの万国博だった!! では渋沢栄一ともすれ違ったのか?と調べてたら、渋沢は1867年の、ガウディは1878年の万国博でした! 歴史新発見とはいかなかった!

調べてみると、パリ万国博は1855年から1900年までほぼ10年毎に5回も開かれていました。各国は自分の最新技術・芸術・伝統を展示し、謂わば産業のオリンピック的なイベントだったのではないのでしょうか。そこには資本家もその資産をどこに活用すべきかという観点から参加・来場していたのではないのでしょうか。そこに色々な出会いがあったと想像させれます。

正当な経済活動で正当に儲け、儲けを人、技術に投資して更に富を増やすのは正しい。その富を正しく使う社会こそが発展するというのが渋沢栄一の考えだったと理解します。

まさに経済と道徳を合体させた考えを示し、それを実践した稀有な人なんですね。

日本的資本主義? かな?

NHKドラマの行方を見ながら、脚本家はどう見たのかを考えるのも面白いかも知れません。

(水田 記)

語学クラスの紹介



★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）
午後：7時～9時
場所：中央公民館（鴻巣中学校前）
鴻巣駅から徒歩7分
会費：無料

ボランティア先生募集、

一緒に楽しみましょう！

連絡先：鈴木和子 ☎09060353649
臼田千鶴子 ☎08066381

★スペイン語クラブ

授業：原則として
第1, 3土曜日 午後2時～3:45
講師：リリアナさん（コロンビア出身）
場所：中央公民館
会費：月額 1,000円
連絡先：田上有三（代表） 080-1317-5579
学習日 3月 6日、27日
4月 3日、17日

スペイン語をみんなで仲良く勉強して、視野を広げ、これからの人生に役立てましょう。
人生経験豊富な人達の興味深い話も聞けますよ
みなさんの参加をお待ちしています。

★初歩のスペイン語クラブ

授業：原則 第2, 4日曜日 10:00～11:30AM
学習日 3月 14日、21日
4月 11日 25日
講師：リリアナさん（コロンビア出身）
場所：田間宮学習センター
会費：月額 2,000円
世話人：千吉良 徹（ちぎら とおる）
048-596-2914
☆¡Hola!（オラ）こんにちは
パエリア、アヒージョはスペイン料理です
食パンはスペイン語で Pan（パン）です

★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）
午後 1時30分～3時30分
場所：市民活動センター
（鴻巣駅前 アスリエビル 3F）
会費：無料
皆さんの周りで、日本語に困っている方は
いませんか？
連絡先：鈴木和子090-6035-3649

英会話サークル

駅前留学」のススメ

ネイティブの先生と直に 英語で話そう！
You are welcome!



当サークルは、英国人の先生を囲んで
英会話を楽しく勉強するサークルです。

- 日時 土曜日 午前 10 時～11 時 30 分
- 会場 市民活動センター
- 講師 英国人 男性

- 会費 3,000 円/月

問合せ先 田上有三 080-1317-5579